



澤 翔太 (さわ しょうた) 鑑水小 2年生

作品名:「みんないちばん」

図 書:わたしのいちばん あのこの1ばん

「1ばんが『いちばん。』1とうしょうが『いちばん』なの」と言う、バイオレットは、走るのも1ばん、大きな声で歌うのも、楽しいおしゃべりで人気もの、何でも、1ばん。何でも1ばんのバイオレットは、すごいと思う。

ロージーは、バイオレットのお豆のめに土をかけてかくしてしまった。バイオレットのめのほうが、少しだけ大きくてくやしかったからだ。ぼくは、そんなことをしてはだめだと思う。自分のも大切に育てていれば、大きくなるし、大きさだけが1ばんではないから。

ロージーは、土をかけてめをかくしてしまったけれど、バイオレットが水ぼうそうで休みだと分かると、バイオレットが学校に来るまで、自分の豆のめと同じようにバイオレットの豆のめを、一生けんめいせわをした。土をかけてしまったことを反せいしたからだと思う。バイオレットの豆のめまでせわをしてあげて、ロージーはやさしくて、いい子だと思う。だれも見えていないところで、せわを一生けんめいがんばるロージーは、えらいと思う。

ぼくは、1ばんではなくても、みんなとくいなことはあるし、いいところもあると思う。だから、みんな『いちばん』だと思う。

バイオレットのように、大きな声で歌わなくても、小さな声で一生けんめい歌えばいいし、ゆかいにおしゃべりできなくてもみんなのおしゃべりを聞いてあげればいいと思う。

いちばんは1とうしょうだけではない。みんなが、自分のいちばんを大切にできたら、みんなが『いちばん』になれると思う。

ぼくも、ぼくのいちばんを大切にしたいと思う。